

## 第2回「プラチナキャリア・アワード」で 東洋経済賞を受賞！

IDEC 株式会社（代表取締役会長兼社長：船木 俊之）は、東洋経済新報社が創設した第2回「プラチナキャリア・アワード」において、東洋経済賞を受賞いたしました。

IDEC は 1945 年の創業以来、「人間性尊重経営」を実践してきました。また社員の生活を大切にしていることからワークライフバランスではなく、あえて「ライフワークバランス」と呼び、社員のウェルビーイング<sup>※</sup>向上に向けたさまざまな取り組みを推進することで、働きやすい職場環境づくりを推進しております。今回は、継続して実施してきた取り組みが評価されました。

※個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念（厚生労働省 HP より）

### プラチナキャリア・アワードについて

このアワードは、「人生 100 年時代」を迎えるにあたり、働く期間の長期化や、多様な働き方が求められる日本において、「年齢によらず自律的な学び舎経験を通じてスキルを磨き、活かす」という、働く人が目指すべきキャリアを「プラチナキャリア」と定義し、キャリア形成、活躍機会の提供を実践している企業を表彰する制度です。（主催：東洋経済新報社、後援：内閣官房 厚生労働省）

プラチナキャリアの特徴として、以下の3点をキーワードとして掲げています。

- 長期的視点：人生 100 年時代、充実した職業人生を送るためのキャリア
- 自律的学び：AI に負けない、自身のライフスタイルを実践するキャリア
- 社会への貢献：社会に関心を持ち、社会に貢献することを意識するキャリア



第2回目となる今回は 194 社の中から、最優秀賞 1 社、優秀賞 3 社、特別賞 1 社、東洋経済賞 1 社が選出されました。

### 「東洋経済賞」の主な受賞理由

- 子育て、介護、通院、ボランティア活動など、社員の多様なライフスタイルをサポートするための「ライフサポート休暇」の導入
- 50 代の社員のセカンドキャリアを考える「ライフプランセミナー」の実施
- 継続雇用制度の整備や、転身支援などの実施
- 自社の製品・サービスの強みを活かした社会課題解決のアイデアを出し合う、SDGs ワークショップ（2018 年実施）を通じた社員の意識を高める取り組みの実施

今後も、社員一人ひとりの個性を尊重し、ライフワークバランスを図りながら、働きがい、生きがいを生み出し、社員のウェルビーイングを追究する取り組みを推進してまいります。

以上

このリリースに関するお問い合わせ

IDEC 株式会社 経営戦略企画部 コーポレートコミュニケーション担当 元山理映子

(TEL) 06-6398-2505 (Email) r.motoyama@jp.idec.com